

シーン	項目	チェック欄	備考	
1 準備 (~競技会前日)	① 試合会場・関係者の確認事項			
	(1)	主管FAは感染対策責任者を定める。及び会場責任者またはリーグ長を定める。		
	(2)	各参加チームの感染対策責任者（エントリー表記載のチーム代表とする）を確認する。		
	(3)	主管FAの感染対策責任者は参加チームの感染対策責任者に以下の事項を事前に伝達する。 (1) 以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせる事 ・体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合） ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合 (2) 当日参加する選手・スタッフ・観戦者全員がマスクを着用する、但し、ピッチ内及びベンチと練習時は除く。 (3) 全員の健康チェックシートに記入し提示報告してもらい、健康チェックシートは所属チームにて最低1ヶ月は保管する。 (4) 競技会に参加する上でNFA4種が示す注意事項を遵守してもらい、指示に従わない場合は退場してもらい。		
	(4)	参加チームの感染対策責任者にそれぞれの地域の自治体から会場となる地域への移動制限が解除されており、会場への移動が問題なく行えることを確認する。		
	(5)	参加チームの選手の保護者ならびに関係者全員が競技会・試合開催を了解しており、参加チーム、会場、試合数、キックオフ時間を理解していることを確認する。		
	(6)	主管FAの感染対策責任者は、事前に下記事項を試合会場の管理者等を確認する。 ① 試合会場が感染対策を十分に行っているか否か。 ② 他団体がいつまで同会場を使用するか。直前に使用する場合、当該団体の感染防止対策が適切になされているか否か。		
	(7)	試合運営に関わる全員が感染対策を認知し、運営準備段階からマスクの着用、手洗いの取行を行う。		
	(8)	前日及び当日に体調の悪い人は躊躇せず申し出て会場に来ない、足を運ばないルールを試合関係者間で事前に徹底する。		
	(9)	試合に関わる全ての人（FA、ボランティア、試合会場、その他関係者）に健康チェックシートを提出してもらい健康状態チェックを行う。		
	(10)	健康状態チェックで準備段階で体調が悪い人がいた場合は、すぐに帰宅させる。		
	(11)	ベンチで間隔を空けて座れるよう、テント等で追加ベンチを設置する。（暑熱対策から屋根付きベンチとする）		
	(12)	可能な限り、更衣室、ベンチ、審判控室、トイレ等の消毒を行う。		
	(13)	トイレの個室に「流す時は蓋を閉める」表示、洗面所に「手洗いは30秒以上」の掲示を行う。		
	② メディア対応			
	(1)	メディア取材を事前申請制とし、会場のサイズに応じて記者の数を制限する。		
	(2)	取材メディアに対し、①-②の内容を確認する。		
	(3)	記者室、会見場が狭い場合、代替の場所を検討する。代替の場所がない場合は、取材メディアにその旨周知する。		
	(4)	取材者と選手が2m以上の距離が保てるように指示する。		
	③ 観客対応			
	(1)	新型コロナウイルスの感染拡大注意とされる地域においては無観客試合が推奨される。		
	(2)	観客を場内に入れる・入れないの判断は、自治体ごとの集会・イベントに関する方針に従う。		
	(3)	観客入れる場合は、以下の点についてホームページまたはメール等で事前アナウンスを行う。 ① 具合の悪い人は来場を見合わせてもらう ② マスクを着用してきてもらう（但し、屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には、マスクをはずすことができる）。 ③ 各自2mの間隔を空けられない場合は必ずマスクを着用する。 ④ 大声を出しての応援や組織的な応援をしない等の事前アナウンスを徹底する。 ⑤ 観戦者には健康チェックシートを義務付けはしないが、『NFA発信の協議・イベント運営ガイドライン』『試合観戦者へのお願い』を遵守願う。		
	(4)	来場者を場内に入れる場合は、サーモグラフィー、体温計による体温チェックを検討する。体温チェック実施困難と思われる場合は、体調の悪い人は観戦をご遠慮いただくように事前にアナウンスをする。事前に当日朝の検温実施をお願いする。		
	(5)	観客を入れる場合は、場内において(3)を徹底するように準備をする。		
	(6)	飲食売店の運営を行う場合は、感染対策を徹底したうえで、ドブ漬けを使用しない。アルコール類の販売はしないことを徹底する。		
	(7)	会場内各所（入退場ゲート、トイレ）に設置するアルコール消毒液を準備する。（1ℓボトルで約300プッシュ）		
	(8)	上記③-(3)~(6)の対応ができない場合は無観客試合として、事前にその旨をホームページ等でアナウンスする。		
	④ 備品の確認			
	(1)	会場責任者は、感染対策実施のために必要な下記備品の準備状況を前日までに確認する。		
	(2)	感染対策実施のために以下の備品を準備する。（基本、各参加チームにて準備する） ① 運営スタッフ用マスク（各自持参） ② アルコール消毒液（各会場最低1個） ③ 液体石鹸（最低1個） ④ ペーパータオルまたはティッシュペーパー（1個、トイレ手拭きは各自持参） ⑤ ゴミ袋（本部用多数、各チーム持参）		

NFA 4種競技会運営用 新型コロナウイルス対応版チェックリスト

シーン	項目	チェック欄	備考
2 試合当日	⑤会場責任者の運営スタッフの健康状態の確認、設営等		
	(1)	会場で運営に携わる人全員がマスクを着用していることを確認する。	
	(2)	人員配置を必要最小限に絞る。(明確な業務のない人は来ない)	
	(3)	試合に関わる全ての人 (FA、ボランティア、試合会場、その他関係者) の試合当日に健康管理表を提出してもらい健康状態チェックを行う。	
	(4)	⑤-(3)で体調が悪い人がいた場合は、どのようなポジションの人でもすぐに帰宅させる。	
	(5)	各トイレに液体石鹸を設置する。	
	(6)	競技会に参加する全てのチームの選手・スタッフ全員が「新しい生活様式」に従って日々の感染症対策、健康管理を行っていることを確認する。	
	⑥MCMにおける参加チームへの確認事項 (MCMは各チームに伝達する)		
	(1)	両チームメンバー、スタッフの健康チェックシートを提示してもらい健康状態の確認を行う。	
	(2)	両チーム、審判との握手を実施しない。コイントスも距離を保つ。試合後の相手ベンチ挨拶は実施しない。	
	(3)	試合前のチーム集合写真撮影は社会的距離を保つ。 リスペクト旗行進やエスコートキッズは実施しない。	
	(4)	円陣を行わない。テントやベンチが不足する場合は各チームで準備する。	
	(5)	得点時にハイタッチ、抱擁を行わない。	
	(6)	ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐いたり、手鼻をかまない。	
	(7)	同じボトルを他の選手と共有せず、口に含んだ水をピッチ内に吐かない。	
	(8)	タオル等、リネンを他の選手と共有しない。氷水バケツを用いてのスポンジで顔口を拭かない (身体はOKとする)	
	(9)	ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも距離についてしっかりと配慮する。	
	⑦レフェリー (→審判員) との事前確認事項		
	(1)	審判員の健康チェックシートを提示してもらい健康状態の確認を行う。	
	(2)	審判員は用具チェックを場外で行う。審判員は用具チェック中マスクを装着する。	
(3)	試合前のセレモニーを控えてもらい、コイントスもキャプテン同士の距離を2 m以上確保する。		
(4)	試合の記録記載のために、選手、指導者、審判員等が共通の文房具類を使用する場合は、各自消毒してから使用する。		
(5)	第4の審判員は原則としてマスクを着用する。4thオフィシャルベンチに複数名が入らないよう運営側と調整する。(人と十分な距離 (少なくとも2 m以上) が確保できる場合には、マスクをはずすことができる)。		
3 試合後	後片付け		
	(1)	チームがメディアからの取材を受ける場合には、記者と選手の間隔を2 m、また取材者同士の間隔を最低1 m以上保つことを徹底する。	
	(2)	試合会場のルールに従い、ゴミを密封した状態で処分する。	
	(3)	担架を使用した場合は、消毒を行う。	
	事後対応		
(1)	帰宅後14日以内に運営に関わった人の中から感染者が出た場合は、保健所の指示に従いつつNFAに報告する。また参加チームの感染対策責任者にその旨伝える。		
(2)	帰宅後14日以内に参加チームから感染者が出た報告があった場合は、上記同様に対処する。		